



教育センターだより

令和元年12月20日

文責 渡辺 富美夫

実りの2学期、終わる

1学期、様々な形で種をまいたものが、2学期には、大きな実りとして見られました。

運動会や学園祭、親善音楽会、小学校6年生の修学旅行、中学校新人戦など様々な行事や取組があり、そこには、一生懸命打ち込み、協力して1つのことをやり遂げる姿が見られました。授業では、一人一人が考えを持ち、それをしっかり伝え、最後まで聴くなど、日頃の学習の姿にも成長が見られました。



町長さんと語る会



10月15日(火)に児童生徒連絡協議会主催の「町長さんと語る会」が開催されました。今年は会場を町議会議場に移すとともに町役場の

各課の課長さん方が参加して下さり、「子ども議会」という形で行われました。「富士河口湖町をさらに豊かな町にしていくためには」のテーマで各学校から意見が出され、質問に対しては町長さんや各課長さんが答弁して下さいました。町長さんからは「将来を担う皆さんは町の宝です。大いに期待し、町が全力で支援しています。魅力ある町づくりをしていきます。」とのメッセージをいただきました。



町長さんと語る会は、私の暮らす町の政治について知るきっかけとなりました。私たちの質問に、町の担当の方が的確に答えていただく中で、町の課題も見えてきました。例えば、ごみの課題についての意見が出されたとき、お話を聞く中で町として簡単に取り組みができるわけではないことを知りました。私たちが率先してごみを拾うなど、地域参画していくことが大切だと感じました。(湖畔児生連会長 河口湖南中学校 小館優介さん)

富士山学習 生活アンケート

豊かな教育をめざして 第4回研究員会

12月5日(木)に第4回研究員会が開催されました。今回の内容は、富士山学習授業と体験学習プログラム、子ども生活・意識アンケートについてでした。

1 富士山学習授業について

全ての小学校が富士山科学研究所と連携した授業を行いました。また、町文化財係学芸員の杉本悠樹さんによる授業も実施している学校が5校ありました。中学校でも、富士山の自然、防災、クニマスについてなど取り組んでいます。富士山世界遺産センターとの連携も進み、富士山学習が進められています。



河口湖新倉堀抜史跡館見学

2 体験学習プログラムの実施について

どの体験学習プログラムも丁寧な指導が行われ、とても充実しているなど高評価を得ることができ、来年度以降の継続実施を望む声が多数ありました。堀抜学習プログラムは実施2年目となり、ワークシートの修正や見学の詳しい流れのものができました。また、富士山科学研究所との連携授業も全小学校で実施され、プログラムの形が定まってきたといえます。富士山科学研究所との打ち合わせが課題でしたが、各学校ではなく全体で行うよう考えていきます。

3 こどもの生活・意識アンケートより

「SNS」がもとで誘拐事件へと発展したことを受けて、スマートフォンの利用について問題となっています。センター実施のアンケートでも所有率が上がっていることから、内容の把握や様々な対策が求められることが確認されました。今回の事件等を受けて利用について早速調査をした学校もありました。